

吉野復興大臣の復興ビジネスコンテスト表彰式
ぶら下がり会見録

(平成29年11月8日(水) 15:24~15:28 於) 千代田区)

1. 発言要旨

みんな素晴らしい取組で、すごいアイデアが沢山出ていると思います。これによって、なりわいの再生、そして復興が進んでいくのかな、こんな思いをしております。

今日表彰された中で高校生の方々が、石巻の水産高校と南相馬の農業高校が表彰されましたけれども、あの菜種油などは私も買って食べてみたいな、そんな思いです。マヨネーズもつくっておりますので、本当に素晴らしい取組だなと。

大賞の漆とロック。プレゼンを聞いていましたら、ロックって何なのかなと思っていたんですけども、よく分かりました。情熱ということで、プレゼンを聞いていてロックの意味が分かったわけでありませう。

特に私、出身が福島県ですから、会津塗りをベースにしておりますので、例えば外国に行くときなどはお土産として持っていきたいなと思っております。

2. 質疑応答

(問) 大臣も触れられましたけれども、高校生や若い人の活動というのが結構目立ったかなと思うんですけども、その世代への期待というのは如何でしょうか。

(答) やはり復興は長い時間がかかりますから、学生さんから62件応募があったということで、それはやはりいかに若い方々が復興、再生にアイデアを出すことに真剣に取り組んでいるかという証拠になるかと思っております。うれしい限りです。

あと、ライオンのふんを使った鹿を寄せつけないという、あの薬が、我々今、猪の被害で苦勞しておりますから、猪にも効くのであれば、すばらしい発明だなと思っております。

私も林野の方を一生懸命やっておりましたから、やはり林野の方においては鹿害ですね。植林しても、すぐ鹿に樹皮を食われてしまうので、せっかくの植林した木が枯れてしまうということで、あれは鹿には効くということでございますので、林野庁の方にも積極的に紹介していきたい、このように思っております。

(問) 今回4回目ということですがけれども、5回目、6回目ということで、どんなコンテストになってほしいと、将来的に思いますでしょうか。

(答) これもPRなんだろうけれども、特に若い方々がもっと応募してくれるようなコンテストにしていきたいと思っています。

(以 上)